

書名：さくさく理解！ 2級ボイラー技士試験 合格テキスト

ISBN：978-4-274-22091-3

令和5年12月18日付 基発1218第1号「労働安全衛生規則及びボイラー及び圧力容器安全規則の一部を改正する省令の施行について」において、電気ボイラーの伝熱面積の算定方法が変更されました。

具体的には、従来は「電力設備容量 20 kW を 1 m<sup>2</sup> とみなして、その最大電力設備容量を換算した面積をもって算定する」とされておりましたが、この換算に用いる電力設備容量 60 kW を 1 m<sup>2</sup> とみなすことに変更されました。

つきましては、以下のとおり本改正に係る修正をお願い申し上げます。

頁数 位置	修正内容	
	旧	新
P. 208 下から3行目	電力設備容量 20kW を 1m <sup>2</sup> とみなして、…	電力設備容量 60kW を 1m <sup>2</sup> とみなして、…
P. 209 力試し⑧	電力設備容量 20kW を 1m <sup>2</sup> とみなして、…	電力設備容量 60kW を 1m <sup>2</sup> とみなして、…
P. 222 伝熱面積の 算定基準3	電力設備容量 20kW を 1m <sup>2</sup> とみなして、…	電力設備容量 60kW を 1m <sup>2</sup> とみなして、…
P. 223 力試し(1)(d) 解答	× (60 ÷ 20 = 3m <sup>2</sup> 小規模ボイラー)	× (60 ÷ 60 = 1m <sup>2</sup> 小規模ボイラー)
P. 254 模試問 31 (5)	電力設備容量 20kW を 1m <sup>2</sup> とみなして、…	電力設備容量 60kW を 1m <sup>2</sup> とみなして、…